

(別紙4(2))

事業所名 有限会社大翔グループホーム日和

## 目標達成計画

作成日: 平成 27 年 4 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員が理念の振り返りを行うことで職員一人一人が持っている思いを引き出すことができるような取り組みに期待したい。	日々の生活において理念を意識した介助に努めたい。	リビングのよく目に付く場所へホームの理念を掲示し、常に意識を持って従事する。	1ヶ月
2	4	現状の会議が行事を中心とした内容になっている。ホームの日常的な運営状況を資料にまとめることで、ホームの現状を分かりやすく伝える取り組みに期待したい。	今までの会議の運営を改めて日々の生活と現状が手に取って見えるような内容にしていきたい。	会議の内容に現況(利用状況、行事等)を伝える機会を必ず作る。また、資料を作成しわかりやすいように伝える工夫をする。	1ヶ月
3	33	ホームではできる支援を増やしていくために医療面での連携にも取り組んでいる。今後も取り組みを継続しながら、ホームでできる支援が増えていくことを期待したい。	立地場所の制約はあるが医療面でのケアを充実するために協力機関といつも密な関係を保っていききたい。	中山間地域での研修会等には積極的に参加し、情報交換を密にしていく。また、身近な開業医にも医療面での相談にのって頂く。協力病院の相談員にも運営推進会議に参加を呼び掛ける。	2ヶ月
4	35	ホームの立地場所の製薬もあり災害時には、ホーム独自で対応末う必要があるため、地域の方々にも協力してもらって避難訓練の継続に期待したい。	災害時には地域の協力は必要条件となる。地域との関係をいつも良好に保てるよう努力していく。	定期的な避難訓練を実施する。地域の方々にも参加を呼び掛ける。消防署との連携も行う。相談や応急講習なども必要時行っていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。